

平成29年度
武田学園 事業報告書



きよらかに、凛と
学校法人 武田学園

平成29年度武田学園事業報告書

目 次

I. 法人の概要	1
1. 武田学園の教育	1
2. 沿革	2
3. 設置校及び所在地	6
4. 役員	6
5. 学生数	7
6. 教職員数	7
7. 組織概要	8
II. 事業の概要	9
1. 認証評価	9
2. 教育研究活動	9
3. 国際交流	11
4. 地域連携	12
5. キャンパス整備	13
6. キャリア形成と卒業生の進路・就職状況	14
III. 財務の概要	19
1. 財産目録	19
2. 貸借対照表	20
3. 収支計算書	21
4. 監事の監査報告書	26

I. 法人の概要

1. 武田学園の教育

建学の精神

第二次大戦後の混乱の時代にあつて故武田ミキは、日本の再建のためには「真実に徹した堅実なる女性」の育成こそが急務であると強く感じ、永年の女子教育の経験を生かし、不動の信念と堅い決意をもって、昭和 23 年に本学園を創立しました。

日本女性の持つ伝統的な礼節・慈愛・勤勉という特性を高揚・伸長し、社会風潮に流されることなく、正しく 強く 明るく 生きぬく女性を育成すること、これが本学園の建学の精神です。

学園訓

- 一、真理を究め正義に生き勤労を愛する人になりましょう。
- 一、責任感の強い逞しい実践力のある人になりましょう。
- 一、謙虚で優雅な人になりましょう。

教育方針

学園は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、建学の精神及び「心を育て 人を育てる」という建学の理念に則り、現代社会を支える学問の基礎・基本となる教養と時代の変化・発展に対応できる専門的学問を教授研究し、深い知識と高い識見と豊かな人間性を養い、もって社会の要請に応え得る人間の育成を目的とします。

教育目標

学園は、その理念・目的を踏まえつつ、それぞれの専門的な立場から「正しい判断力とたくましい実践力を身につけた」人材の養成を目指しています。

2. 沿 革

昭和23年 3月31日	広島県可部女子専門学校設立認可 設立者武田ミキ校長となる。
昭和23年 4月15日	広島県安佐郡亀山村四日市699番地（高宮中学校内）において同校開校
昭和27年 7月15日	私立学校法第31条の規定に基づき学校法人武田学園設立認可
昭和31年12月21日	広島県可部女子高等学校（全日制家政科）設置認可
昭和32年 4月8日	広島県可部女子高等学校 開校、武田ミキ校長就任
昭和37年 1月20日	可部女子短期大学（被服科入学定員40人，収容走員80人）設置認可 武田ミキ学長となる。
昭和37年 3月31日	広島県可部女子専門学校廃校
昭和37年 4月 1日	広島県安佐郡可部町大字中島1810番地において可部女子短期大学開学
昭和39年 1月17日	可部女子短期大学に食物栄養科食物専攻，栄養専攻設置認可
昭和39年 2月24日	可部女子短期大学食物栄養科に，「中学校教諭二級普通免許状（家庭）」授与の資格を得させるための課程認定
昭和39年 3月31日	可部女子短期大学食物栄養科栄養専攻を栄養士養成施設として指定される。
昭和39年 4月 1日	可部女子短期大学食物栄養科開設
昭和40年 1月25日	可部女子短期大学に国文科，英文科設置認可
昭和40年 2月22日	可部女子短期大学国文科，英文科に，「中学校教諭二級普通免許状 国文科に国語，英文科に外国語（英語）」授与の資格を得させるための課程認定
昭和40年 4月 1日	可部女子短期大学国文科，英文科開設
昭和41年 1月25日	広島文教女子大学文学部（国文学科，英文学科）設置認可 武田ミキ学長となる。
昭和41年 4月 1日	広島文教女子大学文学部国文学科，英文学科に，「高等学校教諭二級普通免許状，中学校教諭一級普通免許状 国文学科に国語，英文学科に外国語（英語）」授与の資格を得させるための課程認定
昭和41年 4月 1日	広島県安佐郡可部町大字上原1238番地において広島文教女子大学開学
昭和41年 4月 1日	「可部女子短期大学」を「広島文教女子大学短期大学部」と校名変更
昭和42年12月28日	短期大学部食物栄養科「栄養専攻」を「食物栄養専攻」と専攻名変更
昭和44年 2月 8日	短期大学部食物栄養科食物専攻に，「中学校教諭二級普通免許状（保健）」授与の資格を得させるための課程認定
昭和45年 1月21日	短期大学部に幼児教育学科設置認可
昭和45年 1月24日	短期大学部幼児教育学科を「保母」養成施設として指定される。
昭和45年 2月13日	短期大学部幼児教育学科に，「幼稚園教諭二級普通免許状」授与の資格を得させるための課程認定
昭和45年 2月26日	短期大学部の「国文科」を「国文学科」に，「英文科」を「英文学科」に，「被服科」を「服飾学科」に，「食物栄養科」を「食物栄養学科」に，学科名変更認可
昭和45年 4月 1日	短期大学部幼児教育学科開設

昭和46年 4月 1日	安佐郡可部町大字上原に広島文教女子大学附属幼稚園 開園
昭和51年 3月29日	広島文教女子大学及び広島文教女子大学短期大学部の聴講生の課程に、教員免許状授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 昭和51年4月1日）
昭和53年 4月 1日	短期大学部服飾学科を「2級衣料管理士」養成大学として認定される（社団法人日本衣料管理協会）。
昭和56年 1月16日	文学部に初等教育学科設置認可
昭和56年 2月10日	広島文教女子大学文学部初等教育学科に、「小学校教諭一級普通免許状」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 昭和56年4月1日）
昭和56年 4月 1日	文学部初等教育学科開設
昭和58年11月19日	武田学園創立35周年記念式典挙行
昭和60年 2月 9日	広島文教女子大学文学部国文学科に、「高等学校教諭二級普通免許状（書道）」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 昭和60年4月1日）
昭和60年 3月26日	大韓民国全州教育大学と広島文教女子大学間における研究及び教育の協力について協定を結ぶ
昭和61年 3月18日	広島文教女子大学大学院設置認可 文学研究科国語学国文学専攻（修士課程）
昭和61年 4月 1日	広島文教女子大学大学院文学研究科国語学国文学専攻開設
昭和62年 3月18日	大学院文学研究科教育学専攻（修士課程）増設認可
昭和62年 4月 1日	大学院文学研究科教育学専攻開設 広島文教女子大学大学院文学研究科国語学国文学専攻に、「高等学校教諭一級普通免許状（国語）」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 昭和62年4月1日）
昭和63年 4月 1日	広島文教女子大学文学部初等教育学科に、小学校教諭一級普通免許状授与の資格を得させるための聴講生の課程認定（適用時期 昭和63年4月1日）
昭和63年 5月24日	中華人民共和国大連外国語学院と広島文教女子大学間における研究及び教育の協力について協定を結ぶ。
平成元年 2月14日	文学部初等教育学科に、幼稚園教諭一級普通免許状授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成元年4月1日）
平成元年 4月 1日	文学部に、社会教育主事課程設置
平成元年 4月 1日	文学部に、学芸員課程設置
平成元年 4月 1日	短期大学部「服飾学科」を「生活科学科」に名称を変更
平成 2年 2月20日	大学院文学研究科教育学専攻に、「小学校教諭専修免許状及び幼稚園教諭専修免許状」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成2年4月1日）
平成 2年 4月 1日	短期大学部食物栄養学科食物専攻学生募集停止
平成 3年12月20日	短期大学部食物栄養学科「入学定員50人 収容定員100人」に変更認可（変更時期 平成4年4月1日）
平成 4年 4月 1日	食物栄養学科の専攻課程廃止
平成 5年 3月19日	大学院文学研究科 英米文学専攻（修士課程）増設認可 大学院文学研究科英米文学専攻に「中学校教諭専修免許状 外国語（英語）、高等学校教諭専修免許状 外国語（英語）」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成5年4月1日）
平成 5年 4月 1日	大学院文学研究科英米文学専攻開設

平成 6年 4月 1日	短期大学部幼児教育学科学生募集停止
平成 7年12月22日	短期大学部専攻科栄養専攻（修業年限2年）の設置が文部省において受理される。
平成 8年 1月29日	短期大学部専攻科栄養専攻は学位授与機構が定める要件（学位規則第6条第1項）を満たす専攻科として認定される。
平成 8年 4月 1日	短期大学部専攻科栄養専攻開設
平成 8年 5月28日	短期大学部幼児教育学科を廃止
平成11年 3月19日	文学部国文学科，英文学科に「高等学校教諭一種免許状 国文学科に『国語』『書道』，英文学科に『英語』，中学校教諭一種免許状 国文学科に『国語』，英文学科に『英語』，初等教育学科に，「小学校教諭一種免許状 幼稚園教諭一種免許状」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成11年4月1日）
平成11年 5月31日	4年制大学の充実を図るため「文学部国文学科，英文学科」及び「短期大学部国文学科，英文学科」の学生募集を平成12年4月から停止して，新たに「人間言語学科（入学定員120人，編入学定員10人），人間文化学科（入学定員120人，編入学定員10人），人間福祉学科（入学定員100人，編入学定員20人）」の新設を設置申請
平成11年 7月28日	新学科設置申請認可 人間言語学科 入学定員120人，編入学定員10人，収容定員500人 人間文化学科 入学定員120人，編入学定員10人，収容定員500人 人間福祉学科 入学定員100人，編入学定員20人，収容定員440人 （開設時期 平成12年4月1日）
平成11年 8月 5日	学部名の「文学部」を「人間科学部」に名称変更届出
平成11年10月29日	学部名の「文学部」を「人間科学部」に名称変更届出受理（変更時期 平成12年4月1日）
平成11年12月24日	司書教諭講習科目の相当する授業科目開設について届出受理（開設時期 平成12年4月1日）
平成12年 2月29日	人間科学部人間言語学科に「高等学校教諭一種免許状，中学校教諭一種免許状，国語コースに（国語），英語コースに（英語）」人間文化学科に「高等学校教諭一種免許状（書道）」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成12年4月1日） 学部名「文学部」を「人間科学部」に名称を変更
平成12年 4月 1日	既設の文学部国文学科，英文学科（2学科は平成12年4月学生募集停止）のほか，人間科学部に，人間言語学科（入学定員120名，編入学定員10名），人間文化学科（入学定員120名，編入学定員10名），初等教育学科（入学定員80名），人間福祉学科（入学定員100名，編入学定員20名）開設。 短期大学部は，既設の国文学科，英文学科（2学科は平成12年4月学生募集停止），生活科学科，食物栄養学科となる。
平成12年12月21日	人間科学部人間福祉学科に「高等学校教諭一種免許状（福祉）」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成13年4月1日）
平成13年 5月29日	短期大学部英文学科を廃止
平成14年 4月 1日	人間科学部に心理学科（入学定員70名，編入学定員10名），人間栄養学科（入学定員70名）開設 短期大学部生活科学科，食物栄養学科の学生募集を停止する。
平成14年 5月 7日	大学院文学研究科教育学専攻臨床心理学コースに「臨床心理士」受験資格に関する指定（第2種）を受ける（指定時期 平成15年4月1日，ただし協会指定運用内規により平成14年4月1日から遡及適用）。

平成14年 5月29日	短期大学部国文学科を廃止
平成15年 5月12日	短期大学部生活科学科を廃止
平成16年 4月 1日	人間科学部人間文化学科の学生募集を停止 人間言語学科（入学定員70名，編入学定員10名）に再編成 短期大学部専攻科栄養専攻の学生募集を停止
平成16年12月22日	文学部国文学科を廃止
平成17年 3月29日	人間科学部人間栄養学科に「栄養教諭一種免許状」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成17年4月1日）
平成17年 4月 1日	大学院文学研究科の名称を「人間科学研究科」と改称
平成17年 5月16日	独立行政法人大学評価・学位授与機構へ短期大学部専攻科栄養専攻の廃止届出
平成17年 5月30日	短期大学部を廃止
平成17年 7月 6日	人間科学研究科教育学専攻収容定員の変更に伴う学則変更届出 平成18年4月1日国語学国文学専攻入学定員5名（収容定員10名），英米文学専攻入学定員5名（収容定員10名）の学生募集を停止し，教育学専攻の入学定員10名（収容定員20名），平成19年4月入学定員15名（収容定員30名）とする。
平成18年 3月31日	文学部英文学科を廃止
平成20年 4月 1日	大学院人間科学研究科人間福祉学専攻を開設
平成21年 4月 1日	人間科学部人間言語学科の学生募集停止
平成22年 4月 1日	人間科学部グローバルコミュニケーション学科（入学定員70人，編入学定員5人）を開設
平成24年 4月17日	人間科学部初等教育学科及び人間福祉学科収容定員の変更に伴う学則変更届出 平成25年4月1日初等教育学科入学定員80名（収容定員320名）を入学定員100名（収容定員400名），人間福祉学科入学定員100名（収容定員440名（編入学40名））を入学定員80名（収容定員360名（編入学40名））に変更
平成27年 3月31日	人間科学部人間言語学科を廃止
平成29年11月28 日	人間科学部心理学科及び人間科学研究科教育学専攻臨床心理学コースに「公認心理師」受験資格を得させるための科目変更届出（適用時期 平成30年4月1日）

3. 設置校及び所在地

<大 学> 広島文教女子大学（広島市安佐北区可部東 1-2-1）

人間科学部（初等教育学科、人間福祉学科、心理学科、人間栄養学科、
グローバルコミュニケーション学科）

<大 学 院> 広島文教女子大学大学院（広島市安佐北区可部東 1-2-1）

人間科学研究科（教育学専攻、人間福祉学専攻）

<高等学校> 広島文教女子大学附属高等学校（広島市安佐北区可部東 1-2-3）

全日制課程普通科

<幼 稚 園> 広島文教女子大学附属幼稚園（広島市安佐北区可部東 1-1-15）

4. 役員

（平成 29 年 4 月 1 日現在、理事定数 11 名、現員 11 名、監事定数 2 名、現員 2 名）

理事（理事長）	武田 義輝	理事（非常勤）	友廣 和典
理事（学長）	森下 要治	理事（非常勤）	児玉 裕志
理事（校長）	梶原 督三	理事（非常勤）	田中 豊實
理事（園長）	栗屋 一枝	理事（非常勤）	大内 良治
理事（学園統括部長）	金本 潔	理事（非常勤）	栗屋 充博
理事（非常勤）	桑原 正彦	監事（非常勤）	久保田宏温
監事（常勤）	大越 藤夫		

5. 学生数

大学等における3年間の在籍状況は、次表のとおりです。（各年度5月1日現在）

区 分	平成 27 年度			平成 28 年度			平成 29 年度		
	現員	収容 定員	充足率	現員	収容 定員	充足率	現員	収容 定員	充足率
広島文教女子大学	1,271	1,666	0.76	1237	1,666	0.74	1135	1,666	0.68
大 学 院	16	36	0.44	15	36	0.42	11	36	0.31
人 間 科 学 部	1,255	1,630	0.77	1222	1,630	0.75	1124	1,630	0.69
人 間 言 語 学 科	—	—	—	—	—	—	—	—	—
グローバルコミュニケーション 学 科	131	290	0.45	126	290	0.43	123	290	0.42
初 等 教 育 学 科	488	340	1.28	495	380	1.30	496	380	1.31
人 間 福 祉 学 科	210	420	0.55	194	380	0.51	151	380	0.40
心 理 学 科	131	300	0.44	116	300	0.39	101	300	0.34
人 間 栄 養 学 科	295	280	1.05	291	280	1.04	253	280	0.90
広島文教女子大学 附 属 高 等 学 校	556	480	1.15	528	480	1.10	520	480	1.08
広島文教女子大学 附 属 幼 稚 園	165	160	1.03	147	160	0.92	132	160	0.83
計	1,992	2,306	0.86	1912	2,306	0.83	1787	2,306	0.77

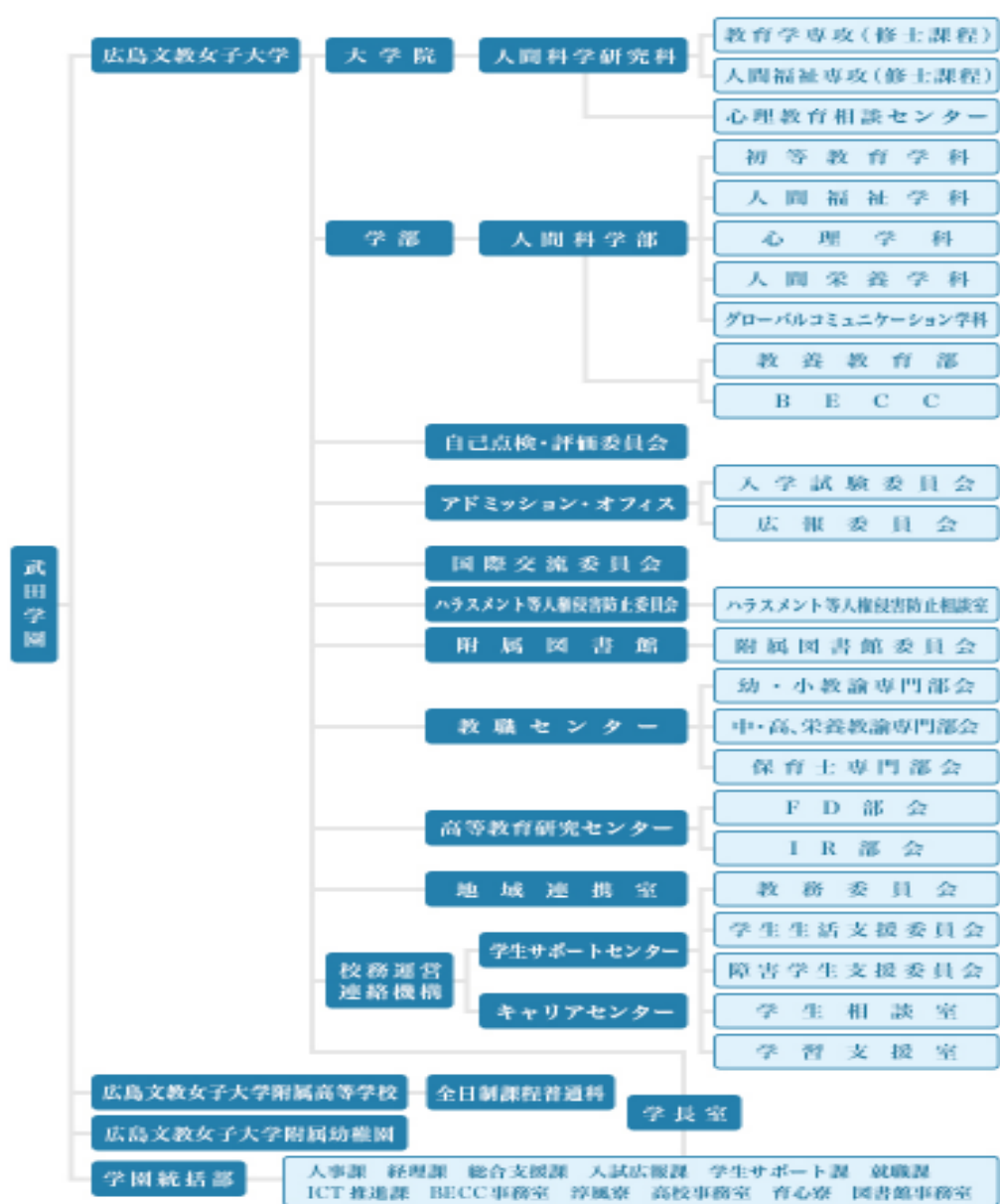
6. 教職員数

（各年度5月1日現在）

区 分	平成 27 年度			平成 28 年度			平成 29 年度		
	専 任 教 育 職 員	非常勤 教 育 職 員	専 任 事 務 職 員	専 任 教 育 職 員	非常勤 教 育 職 員	専 任 事 務 職 員	専 任 教 育 職 員	非常勤 教 育 職 員	専 任 事 務 職 員
広島文教女子大学	90	101	50	88	89	52	89	80	48
附 属 高 等 学 校	37	18	5	38	16	6	39	14	6
附 属 幼 稚 園	9	8	0	8	9	0	9	7	1
計	136	127	55	134	114	58	137	101	55

7. 組織概要（平成 29 年 4 月 1 日現在）

法人組織及び設置する各学校等の組織は、次のとおりです。



Ⅱ 事業の概要

1. 認証評価

広島文教女子大学は、平成 24 年 10 月、公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審し、平成 19 年に続いて「大学評価基準に適合している。」と平成 25 年 3 月 12 日付けで認定されました。

2. 教育研究活動

(1) 広島文教女子大学

① 大学ミッション

「わたしたちは、質の高い教育ときめ細かな支援で、学生一人ひとりの成長を後押しし、社会に役立つ人材を育成します。」

② 教育活動

人間科学部グローバルコミュニケーション学科の学生が、昨年度に引き続いて国土交通省主催の「“水のめぐみ”とふれあう水の里の旅コンテスト 2017」に応募し、特別賞【観光庁観光資源課長賞】に選出されました。観光学やマーケティングに関する学修をさらに深めるため、山川拓也講師のもとでプロジェクト活動を展開し、広島県内を流れる江の川水系の歴史・文化を実地に調査して、現役の神楽団員による特別解説や交流、三次の鵜飼の情景・風情を楽しむことを通じて、江の川上流から中流域の生活文化を体感できるツアーとして企画をまとめたものです。2 か年続けての受賞は、こうしたアクティブラーニングによる学びの深化が、本学教育の中に着実に根付きつつあることを示しています。

③ 研究活動

本学の研究活動の成果は、各種学術雑誌の形で公刊されています。「教職センター年報」「対人コミュニケーション研究」「人間福祉研究」「広島文教教育」「広島文教食物栄養研究会誌」「広島文教女子大学研究紀要」「広島文教女子大学高等教育研究」「広島文教女子大学心理学研究」「広島文教グローバル」「文教國文学」等の学術雑誌には、学科を超えた研究活動の成果が掲載され、本学学生や教職員の研究成果の一斑を広く社会に問うています。平成 31 年度の教育学部設置に向けて、今年度は特に活発な成果の発表が見られました。

(2) 広島文教女子大学附属高等学校

① 高等学校ミッション（目指す生徒像）

「われわれは、さらなる教授力の確立に努め、きよらかに凜とした知性溢れる生徒を育成します。」

② 教育方針

ア．建学の精神に基づいた心の教育の推進

知識と知恵に裏付けされたしなやかな知性をもち、誠実さにあふれた生徒を育成します。

イ．学力の向上と進路指導

自らが学ぶことに価値を見出し、自学・自習ができ、より高い目標に挑戦する生徒を育成します。

ウ．女性として自立できる教育の実践

さまざまな課題や状況に応じたスピーディーかつ的確な判断のもとに、コミュニケーション力を発揮し、リーダーシップのとれる逞しい生徒を育成します。

③ 教育実践

ア．育心育人教育の推進

・人に関わるすべての場面で、他者への「敬意」を念頭に置いた振る舞いができる生徒を育成します。その表れの一つに、その場にふさわしい「あいさつ」ができることを目指します。具体的には、状況に応じて「立ち止って」品位あるあいさつができる生徒を育成します。

・ソシオ活動・課外活動・特別活動を強力に推進し、成功体験や失敗体験を重ねることによって、生徒一人ひとりの知恵を育むと同時に、人と自由に関わる喜びを感じることができる生徒の育成を目指します。

・環境保護に関心をもたせ、それを実践できる生徒を育成します。

・教師全員が **Team** として個々の生徒に関わり、あらゆる教育現場（授業、HR、行事、クラブ等）において心を鍛える教育を行います。

④ 進路実現をめざす学力向上への取り組み

ア．キャリア教育を推進し、社会の仕組みを理解させる中で、生徒自身が将来活躍すべき場所を明確に意識できることを目指します。

イ．明確な将来展望を基盤にして豊富な知識を習得させ、国公立大学をはじめ難関私立大学への進路実現をめざした学力向上に取り組みます。

ウ．高大連携を強化し、広島文教女子大学との継続的な教育活動をも展開します。

エ．B E C Cの活用、海外語学研修修学旅行、留学生との交流等をとおして、積極的に英語を活用していく態度を育て、英語力の向上を図ります。

オ．各教科の教職員がF D活動を推進し、**Team** として生徒全員の教科学力の向上を図ります。

⑤ 女性として自立できる教育の実践（「文教フロンティアスピリット：B F S」の推進）

ア．学園創設者 武田ミキ先生の教育理念を継承し、情熱と愛情に満ち溢れた「逞しい前姿」を見せる教育を実践します。

イ．知性的で自立した女性を育てるために、「B F S」活動をさらに発展させ、豊かなコミュニケーション能力と強いリーダーシップを養う教育を推進します。

(3) 広島文教女子大学附属幼稚園

① 幼稚園ミッション

「わたしたちは、モンテッソーリ教育により、園児の豊かな人生の礎となる最高の教育を行います。」

② 教育目標

「心豊かで 社会性に富み 自立した子ども」を育てる

③ 教育方針

建学の精神である「心を育て 人を育てる」を柱として、一人ひとりの園児への個別的な配慮のもと、「ひとりで できた」という体験を積み重ねることにより自立を促し、3つの心「やさしい心」「すこやかな心」「つよい心」を育んでいます。

④ 教育実践

ア. モンテッソーリ教育の保育実践

クラスは昨年度より満3歳児入園を実施し、年々少、年少、年中、年長の4年齢混合編成です。見て学び、助け合う園生活の全ての場面においてモンテッソーリ教育法を基盤として、自立と社会性を育てています。

クラスでのチャレンジタイム（モンテッソーリ教具を用いた個別の自由選択活動）を通して、選択力や集中力などを高めています。年齢別の分野（音楽・体育・絵画制作）活動においては、発達段階にあわせたモンテッソーリ教育的な情操教育をしています。

イ. こころろフレンズ（未就園児保育）

入園前（2歳児）の親子を対象に、モンテッソーリ教育を基盤として幼児の自立を援助する活動を行っています。

ウ. なかよしキッズ（預かり保育）

家庭的な雰囲気のもと、外遊びを十分取り入れた保育を行っています。

エ. 課外活動の充実

保育後の活動としてサッカー教室、英語教室、書道教室、及び、おはなし会を大学・附属高校の教員、学生等により行い、また、体育教室を外部団体により実施しています。

3. 国際交流

(1) 広島文教女子大学

今年度の特筆すべき話題として、5月24日（水）に、駐日パキスタン臨時代理大使ミルザ・サルマン・ババル・ベッグ氏の本学訪問が挙げられます。ベッグ臨時大使は「Pakistan-the true image」というテーマで講演され、パキスタンの歴史、文化、政治・経済の現状、長年の国連平和維持活動への貢献、そして今年65周年を迎えた日本との友好関係についてお話をいただきました。講演会には、学生や教

職員ら約 100 人が参加し、パキスタンの核兵器不拡散条約へのスタンス、近年の宗教的テロリズムの拡大、マララ・ユスフザイさんに関する質問など、多岐にわたる活発な質疑応答が交わされました。大使は、学生からの質問の一つ一つに、歴史的な背景を示しながら誠実に対応され、学生にとって、国際理解を深めるための貴重な機会となりました。また平成 28 年度から始まった新しい取り組みである「B U N K Y O 留学フェア 2017」は、11 月 27～29 日の 3 日間、本学の英語学習専用施設（BECC）の 1 階で実施され、全学生に向けての留学や国際交流に関する情報提供、外部海外留学奨学金制度の紹介と利用促進および留学経験者から留学希望者への情報提供と学生間ネットワークの構築が図られました。

従来からの活動にこうした新たな取り組みも相まって、本学正規の海外プログラムのほか、人間科学部グローバルコミュニケーション学科学生が文部科学省の官民協働海外支援制度「トビタテ！ 留学 JAPAN」第 8 期生に選ばれ、また外務省 21 世紀東アジア青少年大交流計画による「JENESYS プログラム」にも人間科学部初等教育学科及びグローバルコミュニケーション学科学生からなるグループが選ばれています。

この分野の活動は、今後いっそうの活発化が期待されるところです。

（2）広島文教女子大学附属高等学校

修学旅行の 1 コースとして、海外ホームステイコースを設定しており、平成 29 年度 19 名がカナダ、ブリティッシュコロンビア州アボッツフォード市で語学研修とホームステイ（約 13 日間）を経験しました。

また、カナダの生徒 1 名、タイの生徒 1 名を今年度 8 月末から来年度 7 月末までの 1 年間受け入れます。

4. 地域連携

（1）広島文教女子大学

広島市の補助金事業である常設オープンスペース「すずらんひろば高陽」の運営にも引き続き取り組み、地域のさまざまな団体と学生をつなぐことにより、子育て支援その他のボランティア活動も積極的に展開できるよう環境整備に努めました。

また、外部講師 12 人を招いて体験を聴く「人生論」など、地域のキーパーソンに来てもらい、一緒に学ぶ講座も開催しました。

（2）広島文教女子大学附属高等学校

「ソシオ学校」（教育活動そのものが地域貢献となる活動）を平成 29 年度も各クラブ単位で組み込みました。各クラブで生徒を中心に企画し、地域の小学校の行事で実験や演奏の企画、地域のお祭りで茶会や演奏のおもてなし、高齢者対象にボランティア演奏会など各クラブでさまざまな取り組みを行いました。

学年ごとに日にちを設定し、日頃お世話になっている地域に貢献するため、地域清掃活動を行いました。

5. キャンパス整備

(1) 広島文教女子大学

① 大学3号館、6号館の耐震補強工事完了

大型地震による校舎の耐震化対策のため、平成28年度、大学3号館および6号館の耐震補強工事を完了しました。

② I R活動開始

学生証をICカードに切り換え、iPadを利用した出欠管理システムについて非常勤講師を含めた全教員が使用することになりました。これにより、学生の授業への出席状況の把握を容易にする^{*}とともに、出席状況をIR活動に利用しています。

※IR (institutional research) : 高等教育機関レベルの計画立案や意思決定に有効なデータの分析及び提供を行う組織的活動

(2) 広島文教女子大学附属高等学校

平成29年度の施設整備においては、2号館2階に設置していた進路指導室を1号館2階に移動し、誰もが進路指導を受けやすい環境に整備しました。

(3) 広島文教女子大学附属幼稚園

園バス（パンダバス）の座席シートの不具合がひどくなったため、シートの張替えをしました。

6. キャリア形成と卒業生の進路・就職状況

(1) 広島文教女子大学

平成30年3月卒業生で就職を希望する者の就職率は99.6%でした。

平成30年3月卒業の学年は、一昨年から採用選考開始時期が4年生の6月に繰り下げられています。景気の回復傾向によって採用側の求人件数及び採用者数がさらに高まる中、就職活動スケジュールの前倒しが益々顕著になりました。引続きこれらの学生をとりまく就職環境にあわせて、今年度も次の就職支援と指導等を行いました。

① 小規模大学の強みを活かした個別支援

一人ひとりに向き合う個別支援に重点を置き、きめ細かなサポートを徹底して行いました。個別面談は3・4年生の全員面談（前期/後期）の他、学年に関係なくキャリア・コンサルティング等の個別支援が受けられる体制を整えています。

② キャリアガイダンスの充実

これまで行ってきた年間 10 数回の就職ガイダンスに加え、業界・企業研究の一環として、研究全学年を対象とした「職場見学バスツアー」を新たに実施しました。今回は、2 社の多大なるご理解とご協力のもと、3 年生 20 名をはじめ、業界研究に積極的な 2 年生 4 名及び 1 年生 3 名の計 27 名が参加しました。学生たちの中には、航空業界や食品製造に興味をもち、具体的な研究を目的としていた者はもちろん、働くということはどんなことなのかという根源的な問いを持つ者や業界に興味があったからといった動機をもった者まで、様々な思いをもつ学生が参加しました。

③ スタッフの能力開発

学生の支援・指導等に当たるスタッフの能力開発を継続しました。毎月の課内研修に加えて各自が自己研鑽に励んだ結果、2 名のうち、1 名はメンタルヘルスマネジメントⅢ種、もう 1 名は労務管理 3 級を取得しました。今後もこれまでに取得した資格とを併せて、学生との面談の際に生かしてまいります。

(2) 広島文教女子大学附属高等学校

本校の卒業生の進路は、次の表に示すように、ほとんどが進学であります。その中でも、近年国公立大学・難関私立大学への進学希望・合格実績も増加しており、平成 29 年度は国公立大学には A・B コース合わせて 8 名が現役合格しました。

広島文教女子大学への進学志望者も多く、約 24%が進学しています。

本校では、進路の夢をまず大きく広げ、その実現を目指して日々の学校生活を頑張らせる指導を行っています。大学見学や大学模擬授業、附属幼稚園観察実習、一日看護体験実習など、自分の夢を確認し、強くできる企画もしています。

また、4 年制大学進学希望者には、大学入試センター試験を受験することを前提とした指導をしており、今年度卒業生の受験者は、178 名中 77 名でした。

平成 30 年度入試 合格状況

国公立大学

学 校 名	学 部 名	学 科 名	合格者数
島根大学	法文	法経	1
	教育	学校教育Ⅰ類	1
愛媛大学	理	化学	1
鳴門教育大学	学校教育	学校/小学校	1
県立広島大学	人間文化	国際文化	1
広島市立大学	国際	国際	2
下関市立大学	経済	経済	1
北九州市立大学	地域創生	地域創生学類	1

国公立大学合格者数合計	9
-------------	---

私立大学 県外

学 校 名	学 部 名	学 科 名	合格者数
早稲田大学	スポーツ	スポーツ科学	1
同志社大学	商	商	1
立命館大学	理工	電機電子工	1
東京農業大学	応用生物	食品安全	1
		農芸化学	1
名城大学	農	応用生物化学	1
帝京大学	外国語	外国語	1
神奈川大学	経営	国際経営	1
関東学園大学	経済	経営	1
天理大学	人間	人間/生涯教育	1
龍谷大学	法	法律	1
甲南大学	法	法	1
近畿大学	法	法律	1
	工	情報	1
		化学生命工	2
	生物理工	遺伝子工	1
摂南大学	理工	生命	2
国際武道大学	体育	体育	1
新潟医療福祉大学	健康科学	健康スポーツ	1
宝塚医療大学	保健医療	柔道整復	1
聖カトリナ大学	人間健康	健康スポーツ	1
倉敷芸術科学大学	生命科学	動物生命学	1
徳山大学	経済	ビジネス戦略	3
岡山理科大学	理	応用数学	1
福岡大学	スポーツ	スポーツ科学	1
九州産業大学	商	観光産業	1
九州国際大学	現代ビジネス	地域経済	1
熊本保健科学大学	保健科学	リハビリ/生活機能療法学	1
長崎総合科学大学	工	工/建築学	1
県外私立大学合格者数合計			33

私立大学 県内

学 校 名	学 部 名	学 科 名	合格者数
広島文教女子大学	人間科学	グローバルコミュニケーション	6
		初等教育	22
		人間福祉	16
		心理	13
		人間栄養	2
	小 計		59
広島修道大学	人文	英語英文	2
		人間関係	2
	法	法律	1
	商	経営	1
	経済科学	経済情報	3
	国際コミュニティ	国際政治	1
	人間環境	人間環境	1
安田女子大学	文	英語英米文	10
		日本文	4
	現代ビジネス	現代ビジネス	1
		国際観光ビジネス	1
	家政	管理栄養	1
		生活デザイン	1
		造形デザイン	3
	教育	児童教育	2
	心理	ビジネス心理	1
		現代心理	1
	薬	薬	2
広島国際大学	看護	看護	2
	総合リハビリテーション	リハビリテーション/作業療法学	1
	医療経営	医療経営	3
広島女学院大学	人間生活	児童教育	1
		生活デザイン	1
		管理栄養	1
	人文	日本文化	1
広島文化学園大学	看護	看護	3
比治山大学	現代文化	子ども発達教育	1

広島経済大学	経済	経済	1
		メディアビジネス	1
広島工業大学	環境	建築デザイン	1
広島国際学院大学	情報文化	情報デザイン	1
広島都市学園大学	健康科学	看護	4
県内私立大学合格者数合計			119

私立短期大学

学 校 名	学 科 名	合格者数
比治山大学短期大学部	総合生活デザイン	2
	美術	2
	幼児教育	1
広島文化学園短期大学	保育	1
	食物栄養	1
	コミュニティ	1
安田女子短期大学	保育	1
私立短期大学合格者数合計		9

専門学校

学 校 名	専 攻 名	進学者数
広島高等歯科衛生士専門学校		1
広島デンタルアカデミー専門学校		2
放送芸術学院専門学校	タレント科	1
トリニティーカレッジ広島	臨床工	1
広島製菓専門学校	洋菓子科	1
広島リゾート＆スポーツ専門学校	スポーツトレーナー	1
広島アニマルケア専門学校	動物看護	1
	動物管理	2
広島工業大学専門学校	機械工	1
穴吹デザイン専門学校	インテリアデザイン	1
	CG・ゲーム	2
広島酔心調理製菓専門学校	調理師科(2年)	1
広島美容専門学校	トータルビューティー科	1
広島外語専門学校	総合英語	1

広島県立三次看護専門学校	第一看護	2
呉医療センター附属看護学校		2
尾道市医師会看護専門学校		1
広島市医師会看護専門学校	医療高等課程	2
安佐准看護学院		3
広島医療秘書こども専門学校	こども総合学科	1
広島 YMCA 専門学校	医療事務科	1
	ホスピタリティ科	2
広島情報ビジネス専門学校	総合ビジネス科	2
小井手ファッションビューティー専門学校	ファッションデザイン科	2
ナショナル整体学院		1
浜田医療センター附属看護学校		1
大阪 eco 動物海洋専門学校	動物医療学科	1
大阪テーマパーク・ダンス専門学校	ダンス・エンターティナー	1
大阪ハイテクノロジー専門学校	柔道整復スポーツ学科	1
久留米大学医学部附属臨床検査専門学校		1
専門学校合格者数合計		43

就職

会社等名		就職者数
広島イーグル		1
自衛隊一般曹候補生		1
就職者数合計		2

Ⅲ.財務の概要 （平成 29 年度決算状況）

1. 財産目録

財産目録(平成30年3月31日現在)			
Ⅰ 資産総額		11, 206, 519, 850 円	
内 基本財産		7, 869, 380, 782 円	
運用財産		3, 337, 139, 068 円	
収益事業用財産		－ 円	
Ⅱ 負債総額		1, 145, 272, 646 円	
Ⅲ 正味財産		10, 061, 247, 204 円	
区 分		金 額	
資産額			
1基本財産			
土地	151, 233㎡	2, 757, 131, 640 円	
建物	43, 711㎡	3, 463, 259, 181 円	
図書	254, 656冊	1, 118, 768, 188 円	
教具・校具・備品	19, 382点	136, 581, 204 円	
その他		393, 640, 569 円	
2運用財産			
現金預金		2, 857, 397, 361 円	
その他		479, 741, 707 円	
3収益事業用財産		－ 円	
資産総額		11, 206, 519, 850 円	
負債額			
1固定負債			
長期借入金		185, 805, 000 円	
退職給与引当金		386, 931, 239 円	
2流動負債			
短期借入金		10, 020, 000 円	
未払金		105, 257, 337 円	
前受金		430, 164, 000 円	
預り金		27, 095, 070 円	
負債総額		1, 145, 272, 646 円	
正味財産(資産総額－負債総額)		10, 061, 247, 204 円	

2. 貸借対照表

貸借対照表については、次表のとおりです。

貸借対照表

平成30年 3月31日

(単位 円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	(8,284,532,859)	(8,477,073,790)	(△ 192,540,931)
有形固定資産	< 7,998,561,314 >	< 8,186,026,091 >	< △ 187,464,777 >
土地	2,886,312,172	2,886,312,172	0
建物	3,463,259,181	3,621,868,169	△ 158,608,988
構築物	348,521,152	379,768,991	△ 31,247,839
教育研究用機器備品	118,626,703	167,837,369	△ 49,210,666
管理用機器備品	17,954,501	17,519,206	435,295
図書	1,118,768,188	1,108,994,631	9,773,557
車両	2,013,017	3,725,553	△ 1,712,536
建設仮勘定	43,106,400	0	43,106,400
特定資産	< 276,000,000 >	< 273,500,000 >	< 2,500,000 >
退職給与引当特定資産	220,000,000	220,000,000	0
第3号基本金引当特定資産	56,000,000	53,500,000	2,500,000
その他の固定資産	< 9,971,545 >	< 17,547,699 >	< △ 7,576,154 >
電話加入権	1,828,300	1,828,300	0
施設利用権	2,695,770	3,162,563	△ 466,793
ソフトウェア	2,989,805	9,869,066	△ 6,879,261
出資金	738,800	728,900	9,900
長期貸付金	1,440,000	1,680,000	△ 240,000
敷金	155,400	155,400	0
預託金	123,470	123,470	0
流動資産	(2,921,986,991)	(2,634,074,430)	(287,912,561)
現金預金	2,857,397,361	2,414,991,620	442,405,741
未収入金	36,097,389	194,358,817	△ 158,261,428
貯蔵品	1,667,258	3,114,136	△ 1,446,878
仮払金	725,373	124,293	601,080
立替金	99,080	99,080	0
前払金	26,000,530	21,386,484	4,614,046
資産の部合計	11,206,519,850	11,111,148,220	95,371,630

(単位 円)

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	(572,736,239)	(517,135,006)	(55,601,233)
長期借入金	185,805,000	108,150,000	77,655,000
退職給与引当金	386,931,239	408,985,006	△ 22,053,767
流動負債	(572,536,407)	(449,111,419)	(123,424,988)
短期借入金	10,020,000	10,020,000	0
未払金	105,257,337	25,066,221	80,191,116
前受金	430,164,000	390,113,060	40,050,940
預り金	27,095,070	23,912,138	3,182,932
負債の部合計	1,145,272,646	966,246,425	179,026,221
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	(16,240,178,592)	(16,173,857,814)	(66,320,778)
第1号基本金	16,014,178,592	15,950,357,814	63,820,778
第3号基本金	56,000,000	53,500,000	2,500,000
第4号基本金	170,000,000	170,000,000	0
繰越収支差額	(△ 6,178,931,388)	(△ 6,028,956,019)	(△ 149,975,369)
翌年度繰越収支差額	△ 6,178,931,388	△ 6,028,956,019	△ 149,975,369
純資産の部合計	10,061,247,204	10,144,901,795	△ 83,654,591
負債及び純資産の部合計	11,206,519,850	11,111,148,220	95,371,630

3. 収支計算書

(1) 資金収支計算書

資金収支計算書は、次表のとおりです。

資金収支計算書

平成29年 4月 1日 から
平成30年 3月31日 まで

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	(1,525,665,000)	(1,542,915,981)	(△ 17,250,981)
授業料収入	1,087,916,000	1,100,720,650	△ 12,804,650
入学金収入	88,540,000	94,955,000	△ 6,415,000
入学手続金収入	32,690,000	32,690,000	0
実験実習料収入	16,197,000	13,874,331	2,322,669
施設設備資金収入	300,322,000	300,676,000	△ 354,000
手数料収入	(25,715,000)	(26,168,930)	(△ 453,930)
入学検定料収入	21,865,000	22,468,000	△ 603,000
試験料収入	350,000	336,000	14,000
証明手数料収入	900,000	705,350	194,650
大学入試センター試験実施手数料収入	2,600,000	2,659,580	△ 59,580
寄付金収入	(3,025,000)	(3,066,368)	(△ 41,368)
特別寄付金収入	2,560,000	2,660,000	△ 100,000
一般寄付金収入	465,000	406,368	58,632
補助金収入	(404,074,000)	(399,077,575)	(△ 4,996,425)
国庫補助金収入	164,000,000	132,048,000	31,952,000
地方公共団体補助金収入	240,074,000	267,029,575	△ 26,955,575
資産売却収入	(0)	(0)	(0)
付随事業・収益事業収入	(137,500,000)	(144,363,617)	(△ 6,863,617)
補助活動収入	136,000,000	142,749,617	△ 6,749,617
免許状更新講習料収入	1,500,000	1,614,000	△ 114,000
受取利息・配当金収入	(6,320,330)	(5,567,482)	(△ 752,848)
その他の受取利息・配当金収入	6,320,330	5,567,482	752,848
雑収入	(93,100,740)	(78,507,451)	(△ 14,593,289)
施設設備利用料収入	955,000	1,585,980	△ 630,980
地代収入	748,740	745,088	3,652
私立大学退職金財団交付金収入	47,900,000	32,907,273	14,992,727
広島県私学振興財団等交付金収入	39,600,000	37,875,004	1,724,996
廃品売却収入	50,000	83,364	△ 33,364
研究関連収入	500,000	752,400	△ 252,400
その他の雑収入	3,347,000	4,454,383	△ 1,107,383
過年度修正収入	0	103,959	△ 103,959
借入金等収入	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
長期借入金収入	200,000,000	200,000,000	0
前受金収入	(372,724,500)	(430,164,000)	(△ 57,439,500)
授業料前受金収入	228,000,000	209,082,500	18,917,500
入学金前受金収入	80,000,000	107,040,000	△ 27,040,000
入学手続金前受金収入	0	27,090,000	△ 27,090,000
施設設備資金前受金収入	55,000,000	73,290,000	△ 18,290,000
補助活動前受金収入	9,600,000	13,479,000	△ 3,879,000
その他の雑収入前受金収入	124,500	182,500	△ 58,000
その他の収入	(196,598,717)	(198,981,709)	(△ 2,382,992)
前期未収入金収入	194,358,817	194,358,817	0
長期貸付金回収収入	240,000	240,000	0
預り金受入収入	899,900	3,182,932	△ 2,283,032
立替金回収収入	1,100,000	1,199,960	△ 99,960
資金収入調整勘定	(△ 486,113,060)	(△ 428,116,449)	(△ 57,996,611)
期末未収入金	△ 96,000,000	△ 38,003,389	△ 57,996,611
前期末前受金	△ 390,113,060	△ 390,113,060	0
前年度繰越支払資金	(2,414,991,620)	(2,414,991,620)	
収入の部合計	4,893,601,847	5,015,688,284	△ 122,086,437

(単位 円)

支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出		(1,511,488,000)	(1,471,604,160)	(39,883,840)
教員人件費支出		1,045,661,000	1,038,919,595	6,741,405
職員人件費支出		316,627,000	311,114,830	5,512,170
役員報酬支出		19,700,000	18,852,379	847,621
退職金支出		129,500,000	102,717,356	26,782,644
教育研究経費支出		(356,000,000)	(314,694,581)	(41,305,419)
旅費交通費支出		23,050,000	18,465,081	4,584,919
福利費支出		220,000	72,680	147,320
消耗品費支出		60,490,000	52,616,645	7,873,355
燃料費支出		600,000	1,157,993	△ 557,993
印刷製本費支出		13,120,000	13,284,422	△ 164,422
光熱水費支出		58,300,000	57,009,335	1,290,665
修繕費支出		27,320,000	36,501,448	△ 9,181,448
通信運搬費支出		19,500,000	5,413,418	14,086,582
保険料支出		4,100,000	4,362,986	△ 262,986
公租公課支出		600,000	477,362	122,638
負担金支出		32,400,000	28,677,050	3,722,950
会議費支出		210,000	113,666	96,334
奨学費支出		78,400,000	63,018,921	15,381,079
保健衛生費支出		10,120,000	12,394,624	△ 2,274,624
貸借料支出		9,890,000	7,200,473	2,689,527
講師謝礼支出		3,600,000	2,159,557	1,440,443
海外研修費支出		4,000,000	1,777,194	2,222,806
雑費支出		10,080,000	9,991,726	88,274
管理経費支出		(261,736,200)	(254,427,685)	(7,308,515)
報償費支出		6,060,000	7,800,540	△ 1,740,540
旅費交通費支出		19,130,000	17,097,536	2,032,464
交際費支出		780,000	785,595	△ 5,595
福利費支出		3,930,000	3,647,261	282,739
消耗品費支出		10,100,000	8,868,763	1,231,237
燃料費支出		65,000	0	65,000
印刷製本費支出		17,030,000	15,349,418	1,680,582
光熱水費支出		915,000	964,418	△ 49,418
修繕費支出		2,400,000	1,686,766	713,234
通信運搬費支出		4,370,000	5,934,565	△ 1,564,565
保険料支出		210,000	156,210	53,790
公租公課支出		4,770,000	4,534,338	235,662
負担金支出		16,450,000	6,610,456	9,839,544
会議費支出		30,000	36,804	△ 6,804
広告費支出		49,150,000	32,418,697	16,731,303
保健衛生費支出		290,000	162,439	127,561
貸借料支出		6,100,000	7,249,951	△ 1,149,951
講師謝礼支出		100,000	22,274	77,726
雑費支出		2,720,000	2,769,718	△ 49,718
補助活動仕入支出		116,350,000	137,523,736	△ 21,173,736
私立大学等経常費補助金返還金支出		50,000	72,000	△ 22,000
過年度修正支出		736,200	736,200	0
借入金等利息支出		(1,700,000)	(1,420,584)	(279,416)
借入金利息支出		1,700,000	1,420,584	279,416
借入金等返済支出		(123,180,000)	(122,345,000)	(835,000)
借入金返済支出		123,180,000	122,345,000	835,000
施設関係支出		(104,000,000)	(43,106,400)	(60,893,600)
建物支出		46,000,000	0	46,000,000
構築物支出		1,000,000	0	1,000,000
建設仮勘定支出		57,000,000	43,106,400	13,893,600
設備関係支出		(66,500,000)	(21,958,643)	(44,541,357)
教育研究用機器備品支出		55,600,000	9,163,204	46,436,796
管理用機器備品支出		2,100,000	4,650,228	△ 2,550,228
図書支出		8,800,000	8,145,211	654,789
資産運用支出		(2,525,000)	(2,509,900)	(15,100)

(単位 円)

科 目	予 算	決 算	差 異
出資金支出	25,000	9,900	15,100
第3号基本金引当特定資産繰入支出	2,500,000	2,500,000	0
その他の支出	(54,076,221)	(52,867,791)	(1,208,430)
預託金支出	10,000	0	10,000
前期末未払金支払支出	25,066,221	25,066,221	0
前払金支払支出	9,000,000	26,000,530	△ 17,000,530
立替金支払支出	0	1,199,960	△ 1,199,960
仮払金支払支出	20,000,000	601,080	19,398,920
〔予備費〕	(0)		
資金支出調整勘定	50,000,000		50,000,000
期末未払金	(△ 79,386,484)	(△ 126,643,821)	(47,257,337)
期未未払金	△ 58,000,000	△ 105,257,337	47,257,337
前期末前払金	△ 21,386,484	△ 21,386,484	0
翌年度繰越支払資金	(2,441,782,910)	(2,857,397,361)	(415,614,451)
支出の部合計	4,893,601,847	5,015,688,284	△ 122,086,437

(2) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、次表のとおりです。

事業活動収支計算書

平成29年 4月 1日 から
平成30年 3月31日 まで

(単位 円)

教育活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
	学生生徒等納付金	(1,525,665,000)	(1,542,915,981)	(△ 17,250,981)
	授業料	1,087,916,000	1,100,720,650	△ 12,804,650
	入学金	88,540,000	94,955,000	△ 6,415,000
	入学手続金	32,690,000	32,690,000	0
	実験実習料	16,197,000	13,874,331	2,322,669
	施設設備資金	300,322,000	300,676,000	△ 354,000
	手数料	(25,715,000)	(26,168,930)	(△ 453,930)
	入学検定料	21,865,000	22,468,000	△ 603,000
	試験料	350,000	336,000	14,000
	証明手数料	900,000	705,350	194,650
	大学入試センター試験実施手数料	2,600,000	2,659,580	△ 59,580
	寄付金	(3,225,000)	(3,066,368)	(△ 158,632)
	特別寄付金	2,560,000	2,660,000	△ 100,000
	一般寄付金	465,000	406,368	58,632
	現物寄付	200,000	0	200,000
	経常費等補助金	(404,074,000)	(399,077,575)	(△ 4,996,425)
	国庫補助金	164,000,000	132,048,000	31,952,000
	地方公共団体補助金	240,074,000	267,029,575	△ 26,955,575
	付随事業収入	(137,500,000)	(144,363,617)	(△ 6,863,617)
	補助活動収入	136,000,000	142,749,617	△ 6,749,617
	免許状更新講習料収入	1,500,000	1,614,000	△ 114,000
	雑収入	(93,100,740)	(78,403,492)	(△ 14,697,248)
	施設設備利用料	955,000	1,585,980	△ 630,980
	地代	748,740	745,088	3,652
	私立大学退職金財団交付金	47,900,000	32,907,273	14,992,727
	広島県私学振興財団等交付金	39,600,000	37,875,004	1,724,996
	廃品売却収入	50,000	83,364	△ 33,364
	研究関連収入	500,000	752,400	△ 252,400
	その他の雑収入	3,347,000	4,454,383	△ 1,107,383
教育活動収入計	2,189,279,740	2,193,995,963	△ 4,716,223	

		(単位 円)			
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支	人件費	(1,465,288,000)	(1,449,550,393)	(15,737,607)	
	教員人件費	1,045,661,000	1,038,919,595	6,741,405	
	職員人件費	316,627,000	311,114,830	5,512,170	
	役員報酬	19,700,000	18,852,379	847,621	
	退職金	65,300,000	58,669,713	6,630,287	
	退職給与引当金繰入額	18,000,000	21,993,876	△ 3,993,876	
	教育研究経費	(594,298,381)	(554,124,604)	(40,173,777)	
	旅費交通費	23,050,000	18,465,081	4,584,919	
	福利費	220,000	72,680	147,320	
	消耗品費	60,490,000	52,658,286	7,831,714	
	燃料費	600,000	1,157,993	△ 557,993	
	印刷製本費	13,120,000	13,284,422	△ 164,422	
	光熱水費	58,300,000	57,009,335	1,290,665	
	修繕費	27,320,000	36,501,448	△ 9,181,448	
	通信運搬費	19,500,000	5,498,355	14,001,645	
	保険料	4,100,000	4,362,986	△ 262,986	
	公租公課	600,000	477,362	122,638	
	負担金	32,400,000	28,677,050	3,722,950	
	会議費	210,000	113,666	96,334	
	奨学費	78,400,000	63,018,921	15,381,079	
	保健衛生費	10,120,000	12,394,624	△ 2,274,624	
	賃借料	9,890,000	7,200,473	2,689,527	
	講師謝礼	3,600,000	2,159,557	1,440,443	
	海外研修費	4,000,000	1,777,194	2,222,806	
	減価償却額	238,298,381	239,303,445	△ 1,005,064	
	雑費	10,080,000	9,991,726	88,274	
	管理経費	(283,851,413)	(277,982,245)	(5,869,168)	
	報償費	6,060,000	7,800,540	△ 1,740,540	
	旅費交通費	19,130,000	17,097,536	2,032,464	
	交際費	780,000	785,595	△ 5,595	
	福利費	3,930,000	3,647,261	282,739	
	消耗品費	10,100,000	8,812,763	1,287,237	
	燃料費	65,000	0	65,000	
	印刷製本費	17,030,000	15,349,418	1,680,582	
	光熱水費	915,000	964,418	△ 49,418	
	修繕費	2,400,000	1,686,766	713,234	
	通信運搬費	4,370,000	5,959,771	△ 1,589,771	
	保険料	210,000	156,210	53,790	
	公租公課	4,770,000	4,534,338	235,662	
	負担金	16,450,000	6,610,456	9,839,544	
会議費	30,000	36,804	△ 6,804		
広告費	49,150,000	32,369,512	16,780,488		
保健衛生費	290,000	162,439	127,561		
賃借料	6,100,000	7,249,951	△ 1,149,951		
講師謝礼	100,000	22,274	77,726		
雑費	2,720,000	2,769,718	△ 49,718		
補助活動収入原価	116,350,000	138,924,015	△ 22,574,015		
減価償却額	22,851,413	22,970,460	△ 119,047		
私立大学等経常費補助金返還金	50,000	72,000	△ 22,000		
徴収不能額等	(1,336,000)	(1,906,000)	(△ 570,000)		
徴収不能引当金繰入額	1,336,000	1,906,000	△ 570,000		
教育活動支出計	2,344,773,794	2,283,563,242	61,210,552		
教育活動収支差額	△ 155,494,054	△ 89,567,279	△ 65,926,775		

(単位 円)

事業活動収入の部	科目	予 算	決 算	差 異
	受取利息・配当金	(6,320,330)	(5,567,482)	(752,848)
	その他の受取利息・配当金	6,320,330	5,567,482	752,848
	その他の教育活動外収入	(0)	(0)	(0)
	教育活動外収入計	6,320,330	5,567,482	752,848
事業活動支出の部	科目	予 算	決 算	差 異
	借入金等利息	(1,700,000)	(1,420,584)	(279,416)
	借入金利息	1,700,000	1,420,584	279,416
	その他の教育活動外支出	(0)	(0)	(0)
	教育活動外支出計	1,700,000	1,420,584	279,416
教育活動外収支差額		4,620,330	4,146,898	473,432
経常収支差額		△ 150,873,724	△ 85,420,381	△ 65,453,343

(単位 円)

特別収支	科目	予 算	決 算	差 異
	資産売却差額	(0)	(0)	(0)
	その他の特別収入	(0)	(2,507,025)	(△ 2,507,025)
	現物寄付	0	2,403,066	△ 2,403,066
	過年度修正額	0	103,959	△ 103,959
	特別収入計	0	2,507,025	△ 2,507,025
事業活動支出の部	科目	予 算	決 算	差 異
	資産処分差額	(500,075)	(5,035)	(495,040)
	施設処分差額	20	0	20
	設備除却差額	500,055	5,035	495,020
	その他の特別支出	(736,200)	(736,200)	(0)
	過年度修正額	736,200	736,200	0
特別収支差額	特別支出計	1,236,275	741,235	495,040
	特別収支差額	△ 1,236,275	1,765,790	△ 3,002,065
〔予備費〕		(0)		50,000,000
基本金組入前当年度収支差額		△ 202,109,999	△ 83,654,591	△ 118,455,408
基本金組入額合計		△ 90,000,000	△ 66,320,778	△ 23,679,222
当年度収支差額		△ 292,109,999	△ 149,975,369	△ 142,134,630
前年度繰越収支差額		△ 5,892,067,551	△ 6,028,956,019	136,888,468
基本金取崩額		0	0	0
翌年度繰越収支差額		△ 6,184,177,550	△ 6,178,931,388	△ 5,246,162
(参考)				
事業活動収入計		2,195,600,070	2,202,070,470	△ 6,470,400
事業活動支出計		2,397,710,069	2,285,725,061	111,985,008

監 事 監 査 報 告 書

平成 30 年 5 月 25 日

学校法人 武 田 学 園

理 事 会 御 中

評 議 員 会 御 中

学校法人 武 田 学 園

監事

久保田宏温

監事

大 沢 英 夫

私たちは、学校法人武田学園の監事として、私立学校法第 37 条第 3 項及び学校法人武田学園寄附行為第 16 条の規程に従い、同学園の平成 29 年度（平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで）における業務並びに財産の状況について監査を行いました。

監査にあたり、学校法人武田学園監事監査計画により理事会、評議員会及び常任理事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、重要な書類を閲覧しました。また、会計監査人の実施する会計監査に立ち会うとともに内部監査委員会と連携し、必要と思われる監査手続きを実施しました。

監査の結果、学校法人武田学園の平成 29 年度における業務は適正であり、計算書類すなわち資金収支計算書（人件費支出内訳書を含む。）、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。）は、当該年度末における財産の状況を適切に表示しており、学校法人の業務又は財産に関し、不正の行為または法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。

以上